

## “新” 友愛記念病院が提供する医療機能の機能ご紹介

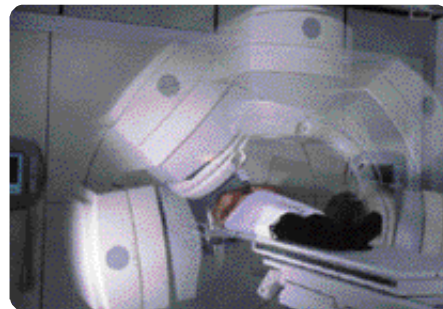
器が開発されてきました。定位放射線照射治療(コバルト60を用いた脳腫瘍に対するガンマナイフが有名ですが、最近はりニアックを用いた体幹部定位照射も開発されています)、IMRT(強度変調放射線治療)、ピンポイント照射(三次元照射)等が、そうした技術です。多方向から照射することによって、放射線が通過する正常組織への影響を減らしたり、コンピューター制御によって線量分布を常時微調整しながら、隣接組織への被曝量を減らしたりして、標的部位には十分な線量の放射線を当てようという考え方に基づいた照射法です。こうした放射線治療の技術革新によって、最近では、癌が一カ所に限局している場合などは、外科的切除に匹敵した治療効果も得られるようになってきています。



当院では、こうした最新の機能を持った、まだ日本には数少ない、本邦最高スペックの放射線治療装置を導入しています。

現在この地域には放射線治療施設はまったくありません。放射線治療が必要な場合は、患者さんは1時間もかけて遠方の病院に通院しなければなりません。こうした不便さも解消されます。また、放射線治療を受ける時、入院ので

最新型の放射線治療装置により、  
癌治療に高い効果が期待できます



きない病院が多いのですが、当院では入院治療が可能です。食欲が落ちたときなど速やかに点滴治療を受けることができ、患者さんの体力の消耗も極力避けることができます。

### 独立した「緩和ケア病棟」

4階には一般病棟とは分離し、独立した病棟として緩和ケア病棟を8床用意しました(図5)。

エレベーターホールを降りると、一般病棟のスタッフステーションとは反対側に緩和ケア病棟の入り口があります。入り口を入ると、右側に談話コーナー、正面にご家族の控え室があり、左側に廊下が続きます。廊下の右側に、トイレ・シャワーユニットの付いた個室病室が8室並んでいます。廊下の左側には、この病棟専用のスタッフステーションやインフォームド・コンセント室(患者さんやご家族に病状等を説明するための部屋)、特別浴室(入浴に介助が必要な患者さんのための浴室)等が並びます。

この病棟で、緩和ケア治療を専門に行います。

### 4「手術センター」機能

#### 手術室6室を擁する手術センターと日帰り手術センター

手術室は3階にあります(図3左)。大中小の6室の手術室がありますが、小と言われる手術室も相当な広さを確保しており、この6室の手術室で、一般外科、消化器外科、呼吸器外科、血管